

科目名（英文表記）	統合科目Ⅱ（企業変革とリーダーシップ） （Integrated Subjects Ⅱ）		
科目区分	発展科目	単位数	2 単位
担当教員名	鈴木 真人（非常勤講師）	ナンバリング	MBA_E_IS 6321
研究室番号	なし	研究室電話番号	なし
Eメール・アドレス	m. suzuki@h-kk. co. jp		

授業の内容及び方法： 次頁以降に記載

授業の目的：

人口減少・少子高齢化、グローバル化、情報化、地球環境問題などにより事業環境が大きく変動する昨今において、企業変革は、組織が危機的な状況に至ってから初めて必要になるものではなく、普段の組織運営においても十分に意識すべきものと考えられます。

しかし、既存の事業が順調に推移している時に、それを維持・発展させつつ同時に将来に備えた変革に取り組むことは決して容易なことではなく、そこには適切なリーダーシップが求められます。

平時、緊急時に関わらず、企業変革に取り組む際に必要となるのは事業戦略であり、本授業では、まず、その計画・立案、事業実施に至るまでの方法論や知見について共有する作業をおこないます。その後、それらを実現していくために発揮すべきリーダーシップについて、受講者各人の持つ知見を引き出しつつ、議論を深めていくことで学んでいただきたいと考えております。

参考文献：

チャールズ・A・オライリー、マイケル・L・タッシュマン「両利きの経営「二兎を追う」戦略が未来を切り拓く」入山章栄監訳・解説、富山和彦解説、渡部典子訳 東洋経済新報社 2019年

その他、授業中に随時指示します。

成績評価の方法：

1. 出席：10%

2. 授業への参加意欲：50%

基準点を設け、知的好奇心の発露、課題に対する洞察力、他者発言に対する態度などの要素に加点評価します。評価は、全8モジュール分を一括しておこないます。

3. レポート等の提出物：40%

各モジュールの前または後にレポートの提出を求めます。各レポートそれぞれ10点満点の採点をおこない合計点で評価します。

履修上の注意事項：

学問的なフレームワークは使用しますが、特定の学説に固執した授業ではありません。受講者のレベルや興味に合わせて授業内容を適宜修正します

また、履修条件は特に設けません。ただし、科目の性格上、簿記・会計など受講の助けとなる知識・経験がありますので、初回のガイダンス時に、受講者に対して、本学における履修科目のほか、学歴、職歴等の個人情報を確認させていただく場合があります。

授業の内容及び方法

モジュール 1 企業変革におけるリーダーの役割を考える	
事前準備	自己紹介をしていただきます。 リーダー像に関して頭の整理をしておいてください。
第 1 時限	ガイダンス／授業の進め方
	授業の概要並びに進め方の説明をおこないます。 講師自己紹介および受講者各人の自己紹介ののちに、授業の進め方、レポートの書き方（決まり事）、事例の選定、ワークショップの手法などについて説明をおこないます。
第 2 時限	企業変革に求められるリーダーシップ
	思考の訓練をおこないます。 まず、一般的なリーダー像を共有し、その後、企業変革に求められるリーダーシップについて各人のイメージ醸成をおこないます。
復 習	企業変革に求められるリーダーシップについて、授業内容をまとめたレポートを作成し、期日までに提出していただきます。

モジュール 2 企業変革に取り組む上での基礎知識の共有	
事前準備	1年次に学んだ履修科目の内容についてお聞きする場合があります。
第 3 時限	企業の投資行動／収支見込の考え方
	変えるべきものは何か（目的）、どうやって変えるのか（手段）、どのような資源（ひと、もの、かね）を投入するのかなど、企業変革は一連の投資行動としてみる事ができます。以降の授業における議論をスムーズにおこなうことが出来るように、このような企業の投資行動について、関連する知識の整理をおこないます。
第 4 時限	事業計画の立案手法
	企業変革を投資行動としてみる場合、これを具体化するために事業経計画の策定が必要になります。 そのため、事業計画の立案手法について、簡易なモデルを使用して共通理解を得たいと考えています。
復 習	授業終了後に講義内容のレジюмеを配布しますので、復習に活用願います。 授業の理解状況によっては、課題を出すことがあります。

モジュール 3 事例研究／新規事業への進出	
事前準備	事前に指示した事例について、その要約と所見を A4×3 枚にまとめて指定日までに提出をお願いします（詳細は授業にて指示します。以下同じ）。
第 5 時限	課題の共有
	<p>身近な新規事業への進出事例を使って、企業変革の目的、手段、利用する資源等について考え方を整理します。</p> <p>まず、事前提出レポートについて発表していただいた後に、事実関係の共有をおこない、検討すべき課題の抽出をおこないます。</p> <p>※履修人数によって、発表方法等は変わります。</p>
第 6 時限	課題解決に向けたディスカッション
	<p>グループに分かれて、課題解決に向けたディスカッションをおこない、その結果についてグループ毎に発表します。</p> <p>その際、各グループには、事業者、投資家、ユーザーなどの立場を設定した議論をおこなっていただきます。</p>
復 習	所属グループの発表内容についての整理をお願いします。

モジュール 4 事例研究／企業変革のフレームワーク	
事前準備	事前に指示した課題図書について、その要約と所見を A4×3 枚にまとめて指定日までに提出をお願いします。
第 7 時限	企業変革のフレームワーク
	<p>課題図書に沿って、企業変革を考える上で複数の有効なフレームワークについて学習します。</p> <p>まず、事前提出レポートについて発表していただいたのちに、課題図書の内容についての共有をおこない、いくつかのフレームワークについて、それを適用する際の課題について検討します。</p>
第 8 時限	課題解決に向けたディスカッション
	<p>課題図書に示されたフレームワークの理解を深めることを目的として、事例を使ったグループディスカッションをおこないます。</p> <p>結果については、グループ毎に発表をおこないます。</p>
復 習	所属グループの発表内容についての整理をお願いします。

モジュール 5 事例研究／連携による企業変革	
事前準備	事前に指示した事例について、その要約と所見を A4 × 3 枚にまとめて指定日までに提出をお願いします。
第 9 時限	企業変革につながる様々な連携（公民連携、M&A、事業再編など）
	企業変革は、自社単独でおこなう場合ばかりとは限りません。昨今では、新規事業分野／企業の買収、ノンコア部門の売却などが、異業種間でもおこなわれるようになってきました。企業変革につながる様々な連携について、事例をとおしてその手法や相手先などの連携の可能性について学びます。
第 10 時限	連携による企業変革とリーダーシップ
	社内だけでなく社外も巻き込んだ連携を実現するには、より普遍的なリーダーシップが求められます。事業を実施する現場におけるリーダーシップ、経営レベルのリーダーシップ、そしてより広範な地域レベルでのリーダーシップ等、様々なレベルにおけるリーダー像について考える機会とします。
復 習	モジュール 3～5 のまとめをレポートとして提出願います。

モジュール 6 ワークショップ（リーダーの決断を学ぶ） 1	
事前準備	特に必要ありません。
第 11 時限	課題の整理
	KJ 法を用いたワークショップを実施します。与えられたテーマについて、グループに分かれてディスカッションし、課題について整理します。その後、グループ毎に整理した内容について発表します。テーマについては、時事、経済など広い分野から提供する予定です。なお、受講者の希望に沿ったテーマを設定することも検討します。
第 12 時限	解決策の検討
	前の時限で整理した課題について全体で共有した後に、グループ毎にリーダーシップに焦点を当てた課題解決に向けた個別のミッションを課します。各グループにおいて、課題の解決策の検討をおこない、その結果を発表していただきます。
復 習	授業内容について各人でまとめをおこない、指定日までに提出していただきます。

モジュール 7 ワークショップ（リーダーの決断を学ぶ） 2	
事前準備	特にありません。
第13時限	課題の整理
<p>モジュール6と同様にKJ法を用いたワークショップを実施します。 テーマについては、モジュール6と重複しないものを設定する予定ですが、モジュール6の結果によっては、そのテーマをより深掘りする形にする場合があります。 なお、受講者からの要望をテーマとする場合もありますが、個別具体の解決策そのものを考えるものとはせずに、出来るだけ普遍的なテーマを設定します。</p>	
第14時限	解決策の検討
<p>前の時限で整理された課題について全体で共有した後に、グループ毎にリーダーシップに焦点を当てた課題解決に向けた個別のミッションを課します。 各グループにおいて、課題の解決策の検討をおこない、その結果を発表していただきます。</p>	
復習	授業内容について各人でまとめをおこない、指定日までに提出していただきます。

モジュール 8 授業の総括	
事前準備	これまでの授業について振り返りをおこなっておいてください。
第15時限	授業の振り返り
<p>講師から授業の簡単な振り返りをおこなった後に、これまでの授業で印象に残った事柄について各人から報告します。</p>	
第16時限	授業の総括
<p>今回の授業の結果を今後何に生かしたいかについて各人が報告します。 最後に講師による総括をおこないます。</p>	
復習	